方針／行動計画と実績

21世紀は「環境の世紀」です。当社は、環境保全をはじめ、企業改革に対する従来からの取り組みを発展させ、新しい2ヵ年計画「価値創造21」を2001年に策定し、その中で「環境先進企業」を掲げました。

自社の事業活動から発生する環境負荷の低減はもちろん、グリーンコンシューマーであるお客様のニーズへの対応、そしてグローバルな環境への取り組みこそが、社会の要請であり、社会から支持されることが企業存続の条件であるという認識のもと、持続可能な循環型社会の実現に寄与していきます。

安全及び環境に関する基本方針

現在、日本で使用するエネルギーの50％以上が、ガソリンをはじめとする石油製品によって賄われています。そして、原料となる原油は、そのほとんどが中東などからの輸入によるものです。

当社は、石油精製・販売を行う事業者の一員として、これまでも安全で安定したエネルギー供給に取り組んできました。また、エネルギー産業の一員として、地域及び地球規模での環境保全を使命と認識しています。従来からあった方針をより明確にするために2001年2月に「地球環境委員会*」において制定された「安全及び環境に関する基本方針」は、社内の共通認識であるとともに、社会に対する当社のコミットメントとして、社外にも公表しています。

*13～14ページをご覧ください。

安全及び環境に関する基本方針

基本認識

コスモ石油は日本のエネルギーの過半を供給するエネルギー事業者たる石油精製販売業に携わるものとして、安全で安定した製品の供給、並びに地域及び地球規模での環境保全が大切な使命と認識しています。

安全に関する基本方針

コスモ石油は安全、安定操業の維持発展を最重要課題の一つとして位置づけ、可燃物、高圧ガスなどを取り扱う事業所においては、従業員や事業活動に従事する全ての人々、及び地域住民の方々の安全の確保を図るとともに、地域社会との共生に努めます。

環境に関する基本方針

コスモ石油は、地域環境問題への取り組みを最重要課題の一つとして位置づけ、事業活動を通じて発生する環境負荷の最小化を目指すとともに、長年培った高い技術力を駆使した環境関連技術の開発を通じて社会貢献をします。

行動計画と2000年度の実績

当社は石油業界全体の行動目標と歩調を合わせながら、社内の「8分科会*」において環境問題に関する特定の具体的方策についての目標設定、アクションプログラムの立案、実施状況の把握を行っています。

2000年度までは、業界目標に準じた行動計画を設定していましたが、2001年度以降は、持続可能な社会づくりへのより積極的な貢献を目指し、当社独自の施策も織り込んだ環境保全活動に取り組んでいく予定です。

＊8分科会の構成は13ページを参照ください。

行動計画		実　績	関連頁
テーマ	目　標	2000年度実績	
環境保全の徹底	製油所から排出する産業廃棄物の最終処分量を2010年度までに、1990年度比67%削減します。	2000年度は1990年度比約72.6%削減を達成しました。	P16
	SOx、NOx、CODなどの環境負荷物質の排出量は、地域の排出基準を遵守するにとどまらず、さらに排出抑制に努めます。	環境負荷物質の排出量は、規制値を大幅に下回っています。	P15、16 P41～45
省エネルギーの推進	地球温暖化の原因となっているCO_2の排出を抑制するため省エネルギーを推進し、製油所のエネルギー消費原単位を2010年度までに1990年度比で10%削減します。	2000年度の削減率は1990年度比約6.7%になっています。目標達成に向けて省エネ投資を順次実施しています。	P15
	石油の陸上輸送、内航海上輸送の燃料使用量を2010年までに1990年度比で9%削減します。	車両台数の削減と稼働効率の向上、及び船舶の大型化と稼働効率の向上を図った結果、2000年度は、1990年度比陸上輸送で13%、海上輸送で11%の削減を達成しました。	P28
省資源・リサイクルの推進 ＜系列SSに対する産業廃棄物の適正処理の啓発＞	マニフェスト制度の運用管理を徹底します。	法改正を受けパンフレットを作成・配布（1999年4月）しマニフェスト制度導入を受けた特約店・SS（サービスステーション）への啓発活動を行いました。	P29
	容器のリサイクルによる再資源化を徹底します。	2000年4月適用の「容器包装リサイクル法」に基づき適切な処理をしています。	P29
	SSを取り巻く環境問題に関するデータベースを作成して、全社的な情報の共有化を目指します。	社内共通のデータベースに環境情報を組み込み、問い合わせ内容及び回答を全社に公開し、活用しています。	P37
＜オフィスにおけるグリーン活動の推進＞	ペーパーレス化などによる省資源とリサイクルを促進します。	OA機器活用によるペーパーレス化を推進するとともに、適宜、事務用品類のグリーン購入を実施しています。	P30
研究開発 ＜石油本業関連の技術開発＞	高性能脱硫触媒の開発を推進します。	将来の硫黄分50ppm軽油の製造を視野に入れた実証化用高性能触媒を開発しました。坂出製油所で実証化試験を予定しています。	P18
	新エネルギー技術開発を推進します。	天然ガスからの液体燃料製造を効率よく行うパイロット試験用高性能触媒を開発しました。 石油系燃料を用いた燃料電池システムを試作しました。	P8、9
＜産業向け環境負荷低減技術開発＞	排水処理関連技術開発を推進します。	製油所排水処理工程で発生する余剰汚泥の減容化技術開発を行いました。今後、製油所での実証化試験を予定しています。	P9
	土壌中の油分浄化技術開発を推進します。	現在までに、土壌中の油分評価方法を開発しました。	P9
	炭化水素ベーパー回収技術開発を推進します。	炭化水素、有機溶剤などのベーパー回収用吸着剤を開発しました。	P27
社会貢献ならびに広報活動	コスモ石油の環境保全活動についての社内外への情報発信を行います。	「コスモ環境レポート」の配布・ホームページへの掲載、「コスモアースコンシャスアクト」などの環境イベントを実施しました。	P35、36
緊急時対策	緊急時の環境負荷を最小化するよう適切な処置を講じます。	防災資機材の整備に努め、防災訓練及び教育を定期的に実施し、災害時に迅速で適切な処置を行えるよう備えています。	P33